

飯能の町の成り立ち

飯能の市街地は、入間川が山地から台地に出る谷の出口に位置しています。この山間部と平野部の接点に位置するところには、山地と平地両方からの物資が集まり、取引するための条件が整っていました。

江戸幕府が誕生すると、水田の少ない山間地域では年貢を貨幣で納めることになり、農産物などをお金に換える「市」が必要でした。そこで、戦国時代には館があり、江戸初期には代官のいる陣屋が置かれた中山に市が立てられました。

その後陣屋が廃止されると、中山の市は次第に廃れてゆき、それに代わり、飯能が新たに市の機能を果たすようになっていきました。当初縄や筵が主に取引されていたので、「縄市」と呼ばれていました。これが今の市街地の始まりです。

その後、米穀や炭、紙、膏物などの生活品や絹織物や綿織物などの織物なども取引されるようになり、賑やかさを増して行きました。

そして大正4（1915）年には武蔵野鉄道（現在の西武池袋線）が、昭和6（1931）年には八高線が開通すると、市街地は次第に南と東へと拡大して行きました。現在では飯能駅周辺が中心商業地となっていますが、市が開かれていた大通りは、歴史的建造物のある落ち着いた町並みとなっています。

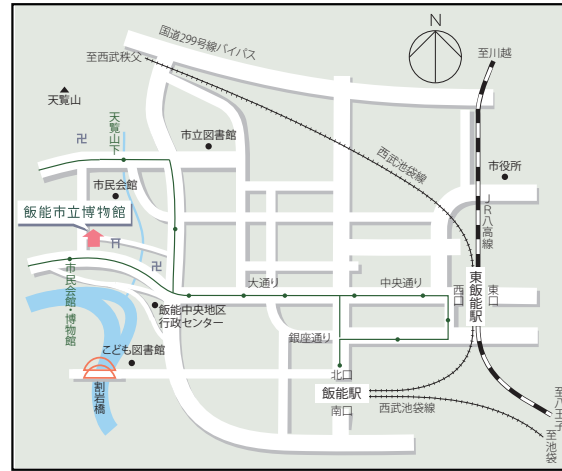


明治44（1911）年12月27日撮影の大通りの様子

展示をご覧になったあとは、

このマップをお供にぜひ市内へお出かけください。

新たな出会いや発見があなたを待っているはずです。



- ▲ **アクセス** ○西武池袋線飯能駅から徒歩約15分
○JR八高線東飯能駅から徒歩約25分
○飯能駅および東飯能駅より国際興業バス名栗方面「市民会館・博物館」バス停車徒歩3分、または西武飯能日高方面「天覧山下」バス停車徒歩2分

- ▲ **利用時間** 午前9時から午後5時まで

- ▲ **休館日** ○月曜日（祝祭日を除く）
○祝日の翌日（祝祭日の場合は開館）
○年末年始（12/28～1/4）

- ▲ **入館料** 無料

▲▲▲ ホームページ・Facebook 更新中 ▲▲▲

博物館・学芸員の日常や仕事の裏側などをお伝えしています。



Facebook



ホームページ



twitter



〒357-0063

埼玉県飯能市大字飯能258-1

TEL (042) 972-1414 FAX (042) 972-1431

E-mail: museum@city.hanno.lg.jp

飯能市立博物館

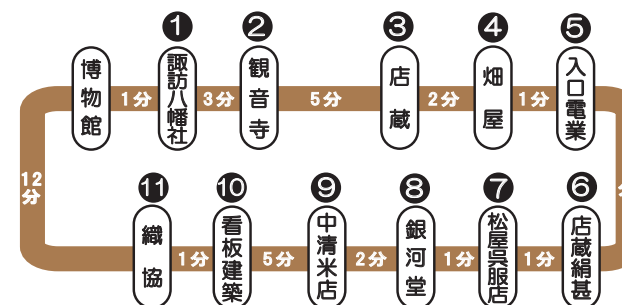
（愛称） **きつとす**

お出かけガイドマップ④



歴史的建造物を訪ねるコース

【約4km】



町のイベント

■飯能夏祭り（7月「海の日」直前の土・日） 天王様のお祭り

飯能夏祭りは、三丁目にある飯能八坂神社の祭礼を母体に、平成11年から現在の名称・形態で行われるようになりました。このお祭りでは、床板の張っていない「底抜け屋台」が主役として引き廻される点が特長です。

■飯能まつり（11月第1土・日） 始まりは諏訪八幡神社の祭礼から

飯能の町における祭りは、江戸時代には行われていた記録がありますが、今日のような山車とお囃子を主とする祭礼になったのは、明治時代以降のことです。それが、観光振興などを目的に市民まつりと結びついて、昭和46（1971）年より開催されるようになったのが、現在の飯能まつりです。今では約17万人もの人々が訪れる、飯能市を代表するイベントになっています。



街中で行われる飯能まつり

■飯能雛飾り展（2月下旬～3月上旬） 店蔵絹甚を中心に全市域で開催

店蔵絹甚をメイン会場に商店や民家、公共施設などがそれぞれ所有するひな人形を展示するイベントです。「雛めぐりスタンプラリー」も実施され、当館にもスタンプが置かれています。



店蔵絹甚での雛飾り